

SAP.C_CPI_2506.v2026-02-09.q43

試験コード:	C_CPI_2506
試験名称:	SAP Certified Associate - Integration Developer
認定資格:	SAP
無料問題数:	43
バージョン:	v2026-02-09
アクセス数:	106
ページビュー数:	430
https://www.jpnpdf.com/SAP.C_CPI_2506.v2026-02-09.q43-mondaishu.html	

最新問題: 1

API Management の初期構成手順によって提供されるプロキシ URL のどの部分ですか？

- A. API管理の名前
- B. サービス名
- C. バージョン
- D. 仮想ホスト

Answer: D (メッセージを残す)

SAP Integration Suite 内で API Management 機能を設定するには、初期設定手順の一環として仮想ホストを指定する必要があります。仮想ホストは、組織を識別するホストエイリアスであり、API プロキシのベース URL として使用されます。たとえば、仮想ホストが myorg の場合、API プロキシ URL は

<https://myorg.apimanagement.hana.ondemand.com/<api-name>> のようになります。仮想ホストは、後から API ポータル設定で変更できます。参考 :API Management 機能の設定 | SAP ヘルプポータル、仮想ホスト | SAP ヘルプポータル

最新問題: 2

どの SAP 統合スイート コンポーネントがクラウド イベントを `emis-s4hana-uc123` メッセージ キューに配信しますか？

- A. イベントメッシュ
- B. API管理
- C. コネクタを開く
- D. プロセス統合

Answer: A (メッセージを残す)

SAP 統合スイートでは、Cloud Events をメッセージ キューに配信するコンポーネントは Event Mesh です。

Event Mesh は、イベント駆動型通信を処理し、emis-s4hana-uc123 などのメッセージキューを管理します。

プロセス統合 (PI/PO) はオンプレミスのミドルウェアであり、Integration Suite クラウドサービスの一部ではありません。

API Management は、メッセージング イベントではなく API を処理します。

Open Connectors は、キュー管理ではなく、サードパーティの SaaS アプリへの接続を提供します。

したがって、クラウド イベントは Event Mesh を介してメッセージ キューに配信されます。

最新問題: 3

SAP 統合スイートでは、仮想ホスト名をどこで変更できますか？

- A. 発見 - API
- B. APIの設計
- C. ? API を構成する
- D. 設定API

Answer: ([解答を表示する](#))

SAP統合スイートでは、設定APIで仮想ホスト名を変更できます。設定APIを使用すると、仮想ホスト名、ベースパス、認証方法、CORS設定など、APIプロバイダーのさまざまな側面を設定できます。参考：統合ソフトウェア | SAP統合スイート、SAP統合スイートによる統合のモダナイズ | openSAP

最新問題: 4

HTTP呼び出しの個々のエンティティにXPath経由でアクセスしたいのですが、名前空間マッピングが存在しない場合はどうすればよいのでしょうか？

- A. 名前空間を JSON に変換します。
- B. 名前空間を削除します。
- C. 名前空間をXMLに変換する
- D. XML プロローグを削除します。

Answer: B ([メッセージを残す](#))

名前空間マッピングが存在しない場合、XPathを介してHTTP呼び出しの個々のエンティティにアクセスするには、名前空間を削除する必要があります。名前空間とは、XML要素または属性のソースまたはコンテキストを識別するプレフィックスです。名前空間がURIにマッピングされていない場合、XPath式の使用時にエラーや競合が発生する可能性があります。したがって、XPathクエリを適用する前に名前空間を削除する必要があります。SAP 統合スイートによる統合の近代化 | openSAP

最新問題: 5

SAP 統合スイートの API 管理機能に API プロバイダーが必要なのはなぜですか？

- A. 認証されたAPIインスタンスを作成する

B. APIを作成する

C. ソースシステムからAPIを組み込む

Answer: ([解答を表示する](#))

API 管理 (統合スイート) の場合:

API プロバイダーは、バックエンド システム (SAP S/4HANA、SuccessFactors、サードパーティ API など) を表します。

これらのシステムから API を接続し、API 管理に組み込む必要があります。

定義されると、API プロバイダーから API プロキシが作成され、API を安全に公開できるようになります。

その他のオプション:

認証は、API プロバイダーではなくポリシーによって処理されます。

API はプロバイダーによって直接作成されるのではなく、API プロキシとして作成されます。

したがって、API プロバイダーの目的は、ソース システムから API を組み込むことです。

最新問題: 6

統合フローで Exchange プロパティを設定したいと考えています。コンテンツ修飾子以外に何が使用できますか?

A. Groovy SDK スクリプト

B. バッチスクリプト

C. XMLスクリプト

D. Pythonスクリプト

Answer: A ([メッセージを残す](#))

SAP Cloud Integration では、以下を使用して Exchange プロパティを作成および設定できます。

コンテンツ修飾子 # プロパティを構成する標準的な方法。

Groovy スクリプト # SAP CPI Groovy SDK を使用すると、実行時に交換プロパティを動的に追加または更新できます。

その他のオプション:

バッチ スクリプト、XML スクリプト、Python スクリプト # SAP CPI ではサポートされていません。

したがって、Content Modifier に加えて、Groovy SDK スクリプトを使用します。

最新問題: 7

統合フローを操作するためにどのようなエディターを使用できますか?

A. グラフィカルエディター

B. コマンドラインエディタ

C. コードエディター

Answer: ([解答を表示する](#))

SAP Cloud Integration では、統合フローは Web ベースのグラフィカル エディターを使用して操作されます。

アダプタ、マッピング、スクリプト、プロセス ステップのドラッグ アンド ドロップが可能になります。

メッセージ フローの視覚的なオーケストレーションを提供します。

コマンドライン エディターと生のコード エディターは、iFlow デザインではサポートされていません (iFlow の背後にある XML は存在しますが、開発者が直接編集することはできません)。

したがって、エディターはグラフィカル エディターです。

最新問題: 8

SAP Integration Suite 内の API 管理機能における製品の特徴は何ですか？

A. API プロバイダーをカプセル化します。

B. これは別のアーティファクトであり、基本認証に必要です。

C. API ビジネスハブエンタープライズに個別のアーティファクトとしてデプロイされます

Answer: C ([メッセージを残す](#))

SAP Integration Suite の API Management 機能におけるプロダクトとは、特定のビジネスシナリオまたはユースケース向けにグループ化された 1 つ以上の API プロキシのバンドルです。プロダクトは、API の検出、利用、管理を一元的に行うプラットフォームである API Business Hub Enterprise にデプロイできる個別のアーティファクトです。プロダクトには、名前、タイトル、説明、クォータ制限などの独自のメタデータを設定できます。また、プロダクトに含まれるすべての API に適用される独自のポリシーを設定することもできます。参考資料: プロダクトの作成 | SAP ヘルプポータル、API Business Hub Enterprise | SAP ヘルプポータル

最新問題: 9

SAP Integration Suite 内の API 管理機能における製品の特徴は何ですか？

A. API ビジネス ハブ エンタープライズに個別のアーティファクトとしてデプロイされます。

B. これは別のアーティファクトであり、基本認証に必要です。

C. API プロバイダーをカプセル化します。

Answer: ([解答を表示する](#))

SAP統合スイートのAPI管理機能において、製品とは、1つ以上のAPI、APIプロキシ、またはAPIプロバイダーをグループ化してカプセル化し、制御された管理可能な方法で消費者に公開する論理エンティティです。製品の主な特徴は、APIプロバイダーをカプセル化することです。

これにより、開発者は関連する API をバンドルし、アクセス ポリシーを定義し、特定のユース ケースやコンシューマー向けに API のライフサイクルを管理できるようになります。

オプションCが正しい理由:

* SAP API Managementにおける製品の役割 :SAP Integration SuiteのAPI Management機能において、製品はAPIプロバイダー APIを公開するバックエンドシステムまたはサービス)とそれに関連するAPIまたはAPIプロキシをカプセル化するコンテナとして機能します。このカプセル化により、アクセス、セキュリティポリシー（認証 レート制限など）、収益化設定を一元管理できます。

製品により、多くの場合 API Business Hub Enterprise または開発者ポータルを通じて、API プロバイダーを構造化された方法で消費者 (開発者やアプリケーションなど) に公開できるようになります。

* SAP リファレンス :SAP ヘルプポータルの SAP Integration Suite - API Management ガイドによると、プロダクトとは API コンシューマーに特定のビジネス機能またはサービスを提供するためにグループ化された API の集合」と定義されています。プロダクトは API プロバイダーのエンドポイントをカプセル化し、アクセスと使用状況を管理するためのポリシーを適用します。例えば、プロダクトは SAP S/4HANA システムの API プロバイダーをカプセル化し、SalesOrder や Customer などの API を外部アプリケーションに公開します。

* 実用的な使用方法 :SAP API Managementでは、統合開発者がAPIポータルでプロダクトを作成し、APIプロバイダー \$APバックエンドシステムやサードパーティサービスなど)に関連付け、OAuthやAPIキー認証などのポリシーを設定します。その後、プロダクトはAPI Business Hub Enterpriseまたは開発者ポータルに公開され、利用者はそこでプロダクトを見つけてサブスクライブできるようになります。

他のオプションが間違っている理由:

* A. APIビジネスハブエンタープライズに個別のアーティファクトとしてデプロイされます。製品はAPIビジネスハブエンタープライズ またはカスタム開発者ポータル)に公開され、消費者が検索できるようになりますが、個別のアーティファクトとしてデプロイされるわけではありません。SAP API Managementでは、アーティファクトはAPIプロキシや統合フローなどのエンティティを指しますが、製品はAPIとそのプロバイダーの論理的なグループであり、スタンドアロンでデプロイ可能なエンティティではありません。製品はAPIポータル内で管理され、ハブ経由で公開されますが、アーティファクトとして「デプロイ」されるわけではありません。

* B. 独立したアーティファクトであり、Basic認証に必須：製品は独立したアーティファクトではなく、Basic認証に特に必須というわけでもありません。Basic認証は、製品内のAPIまたはAPIプロキシに適用できるポリシーですが、製品自体を定義するものではありません。製品はAPIのカプセル化と管理を目的としており、Basic認証のような特定の認証メカニズムを適用するものではありません。

SAP 統合開発者ワークフローの例:

* API プロバイダーの作成: SAP 統合スイートの API ポータルで、開発者はバックエンドシステム (SAP ゲートウェイ サービスやサードパーティの REST サービスなど) とその接続の詳細を指定して、API プロバイダーを定義します。

- * API プロキシの開発: セキュリティやレート制限などのポリシーを適用して、API プロバイダーの特定のエンドポイントを公開する API プロキシを作成します。
- * プロダクトの作成: APIポータルで1つ以上のAPIプロキシをプロダクトにグループ化し、アクセスポリシーと使用制限を設定します。例えば、「顧客管理」プロダクトに顧客データの取得と更新のためのAPIをカプセル化することができます。
- * API Business Hub Enterprise に公開: 製品を API Business Hub Enterprise またはカスタム開発者ポータルに公開し、消費者が製品を見つけてサブスクライブできるようにします。
- * コンシューマー アクセス: 外部アプリケーションまたは開発者が製品をサブスクライブし、カプセル化された API にアクセスするための資格情報 (API キーや OAuth トークンなど) を受け取ります。

参考文献:

SAP ヘルプ ポータル: SAP 統合スイート - API 管理ガイド - 「API 製品」セクションでは、API プロバイダーとその API をカプセル化して消費者へのアクセスと公開を管理するエンティティとしての製品について説明します。

SAP API 管理開発者ガイド: API プロバイダーのカプセル化とポリシーの適用における役割に重点を置き、製品の作成および管理のプロセスを詳しく説明します。

SAP コミュニティ ブログ: 「SAP API Management を使い始める」などの記事では、製品を使用して API をバンドルし、API Business Hub Enterprise 経由で公開する方法を説明しています。

SAP 統合スイートのドキュメント: 統合シナリオで API プロバイダーへの制御されたアクセスを容易にする製品の役割について説明します。

最新問題: 10

SAP BTP ロール コレクションのどの組み合わせにより、ユーザーは SAP Event Mesh 内のキューとトピックのサブスクリプションを管理し、その使用状況とリソースを監視できますか。

- A. ApplicationAdmin と ApplicationDevelop
- B. EventMeshAdmin と EventMeshDevelop
- C. SecurityAdmin と SecurityDevelop
- D. IntegrationAdmin と IntegrationDevelop

Answer: B (メッセージを残す)

SAP BTPでは、SAP Event Meshは、開発者と管理者がタスクを実行するために特定のロールコレクションを必要とするメッセージング機能 (キュー、トピック、サブスクリプション) を提供します。SAPは、Event Mesh専用のロールコレクションを2つ提供しています。

イベントメッシュ開発者:

キューとトピックのサブスクリプションを管理する
イベントメッシュとそのキューを監視します
キューとメッセージフローのテストを実行します

イベントメッシュ管理者:

すべての開発者機能が含まれています

Event Mesh インスタンスと構成のライフサイクル管理のための追加の管理権限を提供します。ユーザーにこれらのロール コレクションが割り当てられると、次の権限が得られます。

キューとトピックのサブスクリプションを作成および管理します。

Event Mesh 内のキューの深さ、コンシューマー、接続、スプール サイズなどの使用状況とリソースを監視します。

提供されたその他のオプションは正しくありません:

ApplicationAdmin/ApplicationDevelop # これらは SAP Event Mesh ロールコレクションではないため、キューまたはトピックのサブスクリプションアクセスは提供されません。

SecurityAdmin/SecurityDevelop # これらのロールはセキュリティ構成に関連付けられており、Event Mesh の操作は許可されません。

IntegrationAdmin/IntegrationDevelop # これらのロールは、Event Mesh ではなく、SAP Integration Suite (Cloud Integration) 機能に属します。

したがって、SAP 統合開発者ドキュメントによると、正しい検証済みの回答は次のとおりです。

B). EventMeshAdmin と EventMeshDevelop

最新問題: 11

コンテンツ修飾子の交換プロパティに使用できるデータ型は次のどれですか? 注: この質問には 2 つの正解があります。

A. java.lang.Integer

B. java.lang.String

C. java.lang.string

D. java.lang.integer

Answer: A,B (メッセージを残す)

SAP Cloud Integration では、コンテンツ修飾子で Exchange プロパティを構成するときに、サポートされる Java データ型は次のとおりです。

java.lang.String # 最も一般的なタイプ。

java.lang.Integer # 数値プロパティを保存できます。

その他のオプション:

java.lang.string および java.lang.integer # Java 型では大文字と小文字が区別されるため無効です。

したがって、正しい型は java.lang.Integer と java.lang.String です。

最新問題: 12

Representational State Transfer (REST) とは何ですか?

A. メッセージプロトコル

B. アプリケーションプロトコル

C. 建築様式

D. APIの記述言語

Answer: ([解答を表示する](#))

REST (Representational State Transfer) とは:

ネットワーク アプリケーションを設計するためのアーキテクチャ スタイル。

ステートレス、リソース指向、統一インターフェース (HTTP メソッド:

GET、POST、PUT、DELETE) などの原則に基づいています。

SAP で広く使用されています (OData は REST ベースです)。

その他のオプション:

プロトコル (HTTP など) ではなく、記述言語 (OpenAPI など) ではなく、メッセージングに限定されません。

正しい定義 # 建築様式。

最新問題: 13

SOAP アダプタを介して統合フローにメッセージを送信したいと考えています。どの方法を使用してメッセージを送信しますか?

A. パッチ

B. 更新

C. 取得

D. ポスト

Answer: D ([メッセージを残す](#))

SOAP アダプタ経由で統合フローにメッセージを送信する場合:

要求は標準の SOAP プロトコル セマンティクスに従います。

SOAP メッセージは HTTP リクエスト本体で伝送される XML エンベロープ内に格納されるため、メッセージは HTTP POST を使用して送信されます。

GET、UPDATE、PATCH は SOAP 操作には適用されません。

したがって、正しいメソッドは POST です。

最新問題: 14

書き込みタイプのデータストア操作を使用しています。重複エントリを回避するには、どのパラメータを選択する必要がありますか?

A. 既存のメッセージを上書きする

B. アラートの保持しきい値

C. メッセージヘッダーを含める

D. 暗号化されて保存されたメッセージ

Answer: ([解答を表示する](#))

書き込みタイプのデータストア操作を使用する際に重複エントリを回避するには、既存メッセージの上書き」パラメータを選択する必要があります。既存メッセージの上書き」パラメータを使用すると、既存のデータストアエントリが同じキーで既に存在する場合に上

書きできます。このパラメータを選択しない場合、データストアに重複キーが存在すると書き込み操作は失敗します。参考 :SAP統合スイートによる統合の近代化 | openSAP

最新問題: 15

統合フローの特定の処理ステップでペイロードを調べるには、どのログ レベルを使用する必要がありますか？

- A. トレース
- B. 情報
- C. エラー
- D. デバッグ

Answer: A ([メッセージを残す](#))

SAP Cloud Integration では、ログ レベルは次のとおりです。

情報 # デフォルトでは、基本的な実行の詳細がログに記録されます。

デバッグ # 処理手順をログに記録しますが、メッセージ ペイロードはログに記録しません。

エラー # 失敗のみをログに記録します。

トレース # 特定の処理手順でメッセージ ペイロードをキャプチャし、詳細なトラブルシューティングに使用します。

したがって、実行時にペイロードを調べるには、ログ レベルを Trace に設定する必要があります。

最新問題: 16

統合フロー内のメッセージの内容にアクセスするために使用できる式言語はどれですか？

- A. JavaScript 式言語
- B. XML式言語
- C. Spring式言語
- D. シンプルな式言語

Answer: D ([メッセージを残す](#))

統合フロー内のメッセージコンテンツにアクセスするには、シンプル式言語を使用できます。シンプル式言語は、Camelシンプル式言語で定義されている式のサブセットで

す。Camelシンプル式言語は、Apache Camel統合フレームワークでメッセージコンテンツと交換プロパティにアクセスして操作するための言語です。シンプル式言語は、ルーティング条件、コンテンツの変更、変数の割り当てなど、さまざまな目的の式を構築するために使用できる、さまざまな組み込み変数、関数、演算子、リテラルをサポートしています。コンテンツ修飾子、ルーター、フィルター、書き込み変数など、式をサポートするコンポーネントを設定する際に、シンプル式言語を使用できます。参考資料 :Camelシンプル式言語の使用 | SAPヘルプポータル、SAP Cloud IntegrationにおけるCamelのシンプル式言語の理解 | SAPブログ

有効な **C_CPI_2506** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい C_CPI_2506 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **C_CPI_2506** 試験問題集を提供しています。GoShiken.com C_CPI_2506 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com C_CPI_2506 問題集をゲットする人はこちら：
https://www.goshiken.com/SAP/C_CPI_2506-mondaishu.html (**6230%OFF**問題集溶と正解付きで **30%w** 特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: 17

大部分が非同期の統合アーキテクチャを構築したいと考えています。関係するパートナー間で通知を交換するためにどのような設計を使用しますか？

- A. サーバーレス設計
- B. リクエスト駆動設計
- C. イベント駆動設計
- D. 六角形のデザイン

Answer: C (メッセージを残す)

非同期統合アーキテクチャの場合、最適な設計パターンはイベント駆動型アーキテクチャ (EDA) です。

イベント (通知) はプロデューサーによって公開され、関心のあるパートナーによって非同期的に消費されます。

分離された、スケーラブルで回復力のある通信を可能にします。

その他のオプション:

サーバーレス設計 # メッセージングパターンではなく、ランタイム実行モデル。

リクエスト駆動型設計 # 非同期ではなく同期です。

六角形デザイン # メッセージング主導ではないソフトウェア アーキテクチャ パターン。
したがって、パートナー間で非同期通知を交換する場合、正しい設計はイベント駆動型設計です。

最新問題: 18

統合フローでスクリプトを使用できるシナリオは次のうちどれですか。

- A. XSLT マッピング成果物を作成します。
- B. メッセージ ログに情報を追加します。
- C. OData アダプターを構成します。

Answer: B (メッセージを残す)

SAP Cloud Integration (Integration Suiteの一部) では、統合フローでスクリプト

(Groovy、JavaScript) がサポートされており、標準アダプタやマッピングでは実現できないカスタムロジックを処理できます。ユースケースの例:

動的な値でメッセージを充実させます。

メッセージ処理ログにカスタム ログ エントリを追加します。

カスタム検証、変換、または計算。

その他のオプション:

A). XSLT マッピング アーティファクトを作成します。# スクリプトではなく、XSLT によって実現されます。

C). OData アダプターを構成する # スクリプトではなく、アダプター構成によって実行されます。

したがって、スクリプトは、メッセージ ログに情報を追加するなどのランタイム ロジックの拡張に使用されます。

最新問題: 19

APIビジネスハブエンタープライズに新しいAPI製品を公開したいと考えています。要件は何ですか？

A. 少なくとも 2 つのデプロイ済み API プロバイダー

B. 少なくとも 1 つのデプロイ済み API プロキシ

C. 少なくとも 1 つのデプロイ済み API プロバイダー

D. 少なくとも 2 つのデプロイ済み API プロキシ

Answer: B (メッセージを残す)

新しい API プロダクトを API ビジネス ハブ エンタープライズに公開するには、少なくとも 1 つの API プロキシがデプロイされている必要があります。API プロキシは、API プロバイダーと API コンシューマーの間を仲介する API です。API プロキシを使用することで、API プロバイダーにセキュリティ、モニタリング、キャッシュ、変換などの機能を追加できます。API プロダクトは、特定のビジネスシナリオまたはユースケースに合わせてグループ化された 1 つ以上の API プロキシのバンドルです。API プロダクトを作成するには、API ポータルからデプロイ済みの 1 つ以上の API プロキシを選択し、名前、タイトル、説明、割り当て制限などのメタデータを指定する必要があります。その後、API の検出、使用、管理を一元的に行うプラットフォームである API ビジネス ハブ エンタープライズに API プロダクトを公開できます。参考資料: API プロキシの作成 | SAP ヘルプポータル、プロダクトの作成 | SAP ヘルプポータル

最新問題: 20

OData ではどのような機能が使用されますか？

A. TCP、AtomPub、JSON

B. SOAP、AtomPub、JSON

C. HTTP、AtomPub、JSON

Answer: C (メッセージを残す)

OData は、HTTP、AtomPub、JSON をコア機能として採用しています。OData は、クエリ可能で相互運用可能な RESTful API をシンプルかつ標準的な方法で作成・利用することを可能にするオープンプロトコルです。OData は、クライアントとサーバー間のデータ転送のためのアプリケーションプロトコルとして HTTP を基盤としています。OData は、データフィードとエントリを XML で表現するためのフォーマットのの一つとして AtomPub を採

用しています。また、OData は、データフィードとエントリを軽量かつ人間が読みやすい形式で表現するためのフォーマットとして JSON も採用しています。参考資料: OData の紹介 - SAP Learning、OData の概要 | OData - REST への最良の方法

最新問題: 21

OData ではどのような機能が使用されますか？

- A. HTTP、AtomPub、JSON
- B. TCP、AtomPub、JSON
- C. SOAP、AtomPub、JSON

Answer: A (メッセージを残す)

OData は、HTTP、AtomPub、JSON をコア機能として採用しています。OData は、クエリ可能で相互運用可能な RESTful API をシンプルかつ標準的な方法で作成・利用することを可能にするオープンプロトコルです。OData は、クライアントとサーバー間のデータ転送のためのアプリケーションプロトコルとして HTTP を基盤としています。OData は、データフィードとエントリを XML で表現するためのフォーマットのの一つとして AtomPub を採用しています。また、OData は、データフィードとエントリを軽量かつ人間が読みやすい形式で表現するためのフォーマットとして JSON も採用しています。参考資料: OData の紹介 - SAP Learning、OData の概要 | OData - REST への最良の方法

最新問題: 22

HTTPS API呼び出しでは、認証にAPIKeyを使用します。APIKeyはContent Modifierのどの部分に含まれていますか？

- A. メッセージ本文
- B. メッセージヘッダー
- C. 添付ファイル
- D. 交換プロパティ

Answer: B (メッセージを残す)

HTTPS API呼び出しで認証にAPIキーを使用するには、コンテンツ修飾子ステップのメッセージヘッダーにAPIキーを含める必要があります。メッセージヘッダーには、アドレス指定、ルーティング、メタデータなど、メッセージに関連する情報が含まれます。コンテンツ修飾子ステップを使用すると、式または定数を使用してメッセージヘッダーを作成または変更できます。APIキーは通常、APIプロバイダーの要件に応じて、AuthorizationやX-API-Keyなどの特定のヘッダーフィールドの値として渡されます。Camel Simple Expression Languageを使用すると、変数、プロパティ、またはシステム情報からAPIキー値にアクセスしたり、APIキー値を構築したりできます。参照 :コンテンツ修飾子 | SAPヘルプポータル、Camel Simple Expression Languageの使用 | SAPヘルプポータル

最新問題: 23

API のターゲットエンドポイントとは何ですか？ 注: この質問には 3 つの正解があります。

- A. APIプロバイダー

- B. API コンシューマー
- C. リソース
- D. APIプロキシ
- E. オリジナルAPIのURL

Answer: A,D,E (メッセージを残す)

APIのターゲットエンドポイントは、APIプロバイダー、APIプロキシ、そして元のAPIのURLです。APIプロバイダーは、APIのインターフェースと機能を公開するシステムまたはアプリケーションです。APIプロキシは、APIコンシューマーとAPIプロバイダー間のリクエストとレスポンスを仲介する中間コンポーネントです。元のAPIのURLは、APIの場所とリソースを識別するアドレスです。参考：統合ソフトウェア | SAP統合スイート、SAP統合スイートによる統合の近代化 | openSAP

最新問題: 24

インターネットタイプのAPIプロバイダーを作成しました。成功を示すHTTPレスポンスコードは何ですか？

- A. 203
- B. 403
- C. 200
- D. 401

Answer: C (メッセージを残す)

成功を示すHTTPレスポンスコードは200です。レスポンスコード200は、リクエストが正常に処理され、レスポンスに期待されたデータが含まれていることを意味します。2xxレンジの他のレスポンスコードも成功を示しますが、多少の違いがあります。例えば、201はリソースが作成された、202はリクエストが受け入れられたがまだ完了していない、204はレスポンスにコンテンツがないことを意味します。参考：統合ソフトウェア | SAP統合スイート、SAP統合スイートによる統合の近代化 | openSAP

最新問題: 25

SAP 統合スイートの 「オープン統合」原則とはどういう意味ですか？

- A. SAP 統合スイートは、SAP 間の統合を可能にします。
- B. SAP 統合スイートは、デフォルトで他の SAP ソフトウェアとの統合をサポートします。
- C. SAP 統合スイートは、デフォルトでサードパーティ ソフトウェアの統合をサポートします。

Answer: C (メッセージを残す)

SAP統合スイートの 「オープン統合」原則は、SAP統合スイートがデフォルトでサードパーティ製ソフトウェアとの統合をサポートすることを意味します。SAP統合スイートは、SAP製かどうかに関係なく、あらゆるシステムやアプリケーションとの統合を可能にするオープンでモジュール化されたiPaaSです。SAP統合スイートは、サードパーティ製ソフトウェアへの容易かつ柔軟な接続を可能にする、さまざまなコネクタ、アダプタ、API、そ

して構築済みの統合機能を提供します。参考：統合ソフトウェア | SAP統合スイート、SAP統合スイートによる統合の近代化 | openSAP

最新問題: 26

開発中に、どの統合フロー コンポーネントでシミュレートされたペイロードを構成できますか？

- A. コンテンツ修飾子
- B. SOAPアダプタ
- C. 汎用スプリッター
- D. データストア操作

Answer: (解答を表示する)

SAP Cloud Integration では、開発およびテスト中に次のことが行われます。

コンテンツ修飾子を使用すると、ペイロード、ヘッダー、またはプロパティを挿入またはシミュレートできます。

これにより、開発者は外部呼び出しを必要とせずにフローをテストできます。

その他のオプション:

SOAP アダプタ # ペイロードシミュレーションではなく、SOAP 通信に使用されます。

一般的なスプリッター # 着信ペイロードを分割しますが、シミュレートは行いません。

データ ストア操作 # シミュレーションではなく、保存されたメッセージを管理します。

したがって、シミュレートされたペイロードの正しいコンポーネントは Content Modifier です。

最新問題: 27

次のどれから直接 API プロキシを作成できますか?注: この質問には 2 つの正解があります。

- A. APIプロバイダー
- B. ソースURL
- C. オープンコネクタ
- D. S/4HANA API

Answer: A,B (メッセージを残す)

SAP API Management (Integration Suiteの一部) では、APIプロキシはバックエンドサービスのファサードとして機能します。APIプロキシは、以下の手順で直接作成できます。

APIプロバイダー # APIプロバイダーはバックエンドシステム \$AP S/4HANA、SAP Gateway、サードパーティサービスなどを表します。これらのプロバイダーからプロキシを生成できます。

ソース URL # バックエンド システムのエンドポイント URL を直接指定すると、そこからAPI プロキシが生成されます。

その他のオプション:

オープン コネクタ # サードパーティ アプリ (Salesforce、HubSpot など) に調整されたAPI を提供しますが、そこからプロキシを直接作成することはありません。

S/4HANA API # S/4HANA API は公開できますが、通常は作成ソースとして直接リストされるのではなく、API プロバイダーまたは URL を介してアクセスされます。

最新問題: 28

統合フローの XSLT マッピングに使用できるのは次のどれですか。

- A. HTML
- B. JSON
- C. XML
- D. PHP

Answer: C ([メッセージを残す](#))

XSLT (Extensible Stylesheet Language Transformations) は、XML ドキュメントを他の XML またはテキスト形式に変換するために設計された言語です。

SAP Cloud Integration では、ペイロードが XML 形式の場合にのみ XSLT マッピングを適用できます。

JSON ペイロードの場合、最初に JSON # XML を変換し、次に XSLT マッピングを適用します。

その他のオプション:

HTML # XSLT マッピングには使用されません。

JSON # 最初に変換が必要であり、直接使用することはできません。

PHP # マッピングとは無関係のプログラミング言語。

最新問題: 29

SAP Integration Suite、Advanced Event Mesh は、非同期通信に対して主にどのアーキテクチャパターンをサポートしていますか？

- A. パブリッシュ・サブスクライブパターン
- B. マイクロサービスアーキテクチャパターン
- C. イベント駆動型アーキテクチャ (EDA) パターン
- D. メッセージキューパターン

Answer: C ([メッセージを残す](#))

SAP Integration Suite、Advanced Event Mesh (旧称 SAP Event Mesh) は、分散システムにおける非同期通信を促進するために設計されており、主にイベントドリブンアーキテクチャ (EDA) パターンをサポートしています。このアーキテクチャパターンにより、システムはイベントをリアルタイムに生成、検出、利用、そして反応することが可能となり、アプリケーションやサービス全体にわたる疎結合でスケーラブルかつ回復力に優れた統合を実現します。

オプションCが正しい理由:

* SAP Advanced Event Meshのイベント駆動型アーキテクチャ (EDA) SAP Integration SuiteのAdvanced Event Meshは、アプリケーションが非同期的にイベントをパブリッシュおよびサブスクライブできるようにすることで、イベント駆動型通信を実現するクラウドベースのメッセージングサービスです。EDAの中核原則に沿ったリアルタイムのイベント

ストリーミングと処理をサポートしています。EDAでは、関心のある事象（ビジネスプロセスの状態変化など）が発生したときにイベントが生成され、他のシステムやサービスは直接連携することなくこれらのイベントに反応します。

* SAPリファレンス :SAP Integration SuiteドキュメントおよびSAP Advanced Event Mesh開発者ガイドによると、Advanced Event Meshはイベントドリブンアーキテクチャをサポートするために明示的に設計されています。イベントブローカー、トピックベースルーティング、保証されたメッセージ配信といったEDAの特徴的な機能を提供します。このサービスは、SAP環境および非SAP環境におけるリアルタイムデータ統合、IoTイベント処理、アプリケーション間イベント通知といったシナリオを実現します。

* 実用的な使用方法 :SAP Integration Suiteでは、Advanced Event Meshを使用してEDAを実装します。これにより、統合フロー (iFlow) はトピックにイベントをパブリッシュしたり、他のシステムからのイベントをサブスクライブしたりできるようになります。例えば、SAP S/4HANAシステムからAdvanced Event Meshにイベント（例：注文作成）をパブリッシュすると、他のシステム（例：物流アプリケーション）がそれを非同期的に利用して処理できるようになります。

他のオプションが間違っている理由:

* A. パブリッシュ・サブスクライブ・パターン :Advanced Event Meshは、メッセージング・パターン（パブリッシャーがトピックにメッセージを送信し、サブスクライバーがそれを受信する）としてパブリッシュ・サブスクライブ・メカニズムを使用していますが、これは低レベルのメッセージング・パターンであり、アーキテクチャ・パターンではありません。EDAはパブリッシュ・サブスクライブを実装メカニズムの一つとして包含していますが、EDAはシステムの動作と設計を定義するより広範なアーキテクチャ・パターンです。したがって、アーキテクチャの文脈においては、EDAの方がより正確な答えとなります。

* B. マイクロサービス・アーキテクチャ・パターン :マイクロサービス・アーキテクチャは、アプリケーションを独立した疎結合のサービスとして構築する設計アプローチです。Advanced Event Meshは、マイクロサービスベースのシステムで非同期通信を実現するために使用できますが、サポートする主要なアーキテクチャ・パターンではありません。代わりに、マイクロサービスやその他のアーキテクチャに適用できるEDAをサポートしています。

* D. メッセージキューパターン :メッセージキューパターンは、ポイントツーポイントのメッセージングで、メッセージが特定のキューに送信され、単一の受信者によって消費されます。Advanced Event Meshはキューベースのメッセージングをサポートしていますが、主にイベント駆動型、トピックベースの通信に重点を置いており、EDAとの整合性が高いです。メッセージキューはAdvanced Event Meshが提供する機能のサブセットであり、包括的なアーキテクチャパターンを表すものではありません。

SAP 統合開発者ワークフローの例:

* Event Mesh を構成する: SAP Integration Suite では、統合開発者はイベント ブローカーを作成し、トピックまたはキュー（例: sap.s4.order.created）を定義して、Advanced Event Mesh を構成します。

* イベントの公開: SAP システムまたは外部アプリケーションは、MQTT、AMQP、REST などのプロトコルを使用してトピックにイベントを公開します。

* イベントのサブスクライブ: 統合フローまたは外部アプリケーションはトピックをサブスクライブしてイベントを消費し、データベースの更新や別のシステムへの通知などのアクションをトリガーします。

* EDA 実装: このセットアップにより、分離されたスケーラブルな通信が可能になり、複数のコンシューマーが直接の依存関係なしに同じイベントに反応できるようになり、EDA パターンが具体化されます。

参考文献:

SAP ヘルプ ポータル: SAP 統合スイート - Advanced Event Mesh - 「イベント駆動型アーキテクチャの概要」セクションでは、Advanced Event Mesh が非同期イベント ストリーミングを通じて EDA を実現する方法について説明します。

SAP Advanced Event Mesh 開発者ガイド: EDA をコアアーキテクチャパターンとして強調し、イベントブローカー、トピック、サブスクリプションのサポートについて詳しく説明します。

SAP コミュニティ ブログ: 「SAP Advanced Event Mesh を使用したイベント駆動型統合」などの記事では、リアルタイムの疎結合統合のために Advanced Event Mesh を使用して EDA を実装する方法が詳しく説明されています。

OASIS EDA リファレンス モデル: EDA を、システムがイベントに反応するアーキテクチャ パターンとして定義します。これは、SAP Integration Suite の Advanced Event Mesh の機能と一致します。

最新問題: 30

API、ポリシー、統合に関する詳細情報はどこで確認できますか？

- A. SAP統合スイート内のクラウド統合機能
- B. SAP統合スイート内のオープンコネクタ機能
- C. SAP ビジネスアクセラレータハブ

Answer: ([解答を表示する](#))

API、ポリシー、統合に関する詳細は、SAP Business Accelerator Hub でご覧いただけます。SAP Business Accelerator Hub は、様々なビジネスシナリオや業種向けに構築済みの統合、API、ベストプラクティスを発見、検討、利用できる中心的な場所です。参考資料: 統合ソフトウェア | SAP Integration Suite、SAP Integration Suite による統合のモダナイズ | openSAP

最新問題: 31

イベント駆動型アーキテクチャ (EDA) において、あるサービスから別のサービスへの障害の伝播を最も制限するアーキテクチャ特性はどれですか。

- A. 堅牢なエラー処理により、サービスの中断を防ぎます。
- B. サービス間の疎結合により、連鎖的な障害が最小限に抑えられます。

C. 集中化されたログ記録により、障害の迅速な特定が容易になります。

D. 非同期通信は障害の影響を即座にバッファリングします。

Answer: (解答を表示する)

イベント駆動型アーキテクチャでは、回復力は次の方法で確保されます。

疎結合 # サービスは互いのランタイム可用性に依存しません。あるサービスに障害が発生しても、他のサービスに直接影響することはありません。

この設計により、密結合されたシステムで発生する可能性のある連鎖的な障害が最小限に抑えられます。

非同期通信とエラー処理はさらに役立ちますが、疎結合は障害の伝播を制限する基本的な特性です。

誤ったオプション:

A # 堅牢なエラー処理は重要ですが、連鎖的な障害の主なアーキテクチャ上の制限ではありません。

C # 集中ログは障害の防止ではなくトラブルシューティングに役立ちます。

D # 非同期バッファリングは影響を軽減しますが、疎結合は基本的に直接的な伝播を防ぎます。

有効な **C_CPI_2506** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい C_CPI_2506 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **C_CPI_2506** 試験問題集を提供しています。

GoShiken.com C_CPI_2506 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com C_CPI_2506 問題集をゲットする人はこちら:

https://www.goshiken.com/SAP/C_CPI_2506-mondaishu.html (**6230%OFF**問題集溶と正解付きで **30%w** 特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: 32

Apache Camel データモデルのメッセージング モデルは何で構成されていますか?

A. ヘッダー、交換ID、メッセージ内

B. ヘッダー、本文、添付ファイル

C. ヘッダー、本文、プロパティ

D. ヘッダー、プロパティ、添付ファイル

Answer: B (メッセージを残す)

Apache Camel データモデルのメッセージングモデルは、ヘッダー、本文、添付ファイルの3つの部分で構成されます。ヘッダーには、アドレス指定、ルーティング、メタデータなど、メッセージに関連する情報が含まれます。本文には、ペイロード、つまりメッセージの内容が含まれます。添付ファイルには、ファイルや画像など、メッセージに添付できるオプションのデータが含まれます。Apache Camel データモデルは、SAP Integration Suite によって、さまざまなコンポーネントとデータ形式を使用してあらゆる形式のメッセージを処理

するために使用されます。参考 :Camel データモデルの概要 | SAP ヘルプポータル、データ形式 :: Apache Camel

最新問題: 33

APIプロバイダーとCloud Connectorを介してSAPバックエンドシステムをセットアップしたいと考えています。どの接続タイプを使用しますか？

- A. インターネット
- B. オンプレミス
- C. クラウド統合
- D. オープンコネクタ

Answer: B (メッセージを残す)

Cloud Connectorを介してAPIプロバイダーとSAPバックエンドシステムを接続するには、オンプレミス接続タイプを使用する必要があります。Cloud Connectorは、SAP Integration Suiteとオンプレミスシステム間のリンクとして機能し、バックエンドリソースへの安全で制御されたアクセスを可能にします。オンプレミス接続タイプでは、バックエンドシステムの内部ホストとポート、およびSAP Integration Suiteに公開される仮想ホストとポートを指定できます。また、オンプレミス接続のアクセス制御ルールとプロトコルを定義することもできます。参考資料 :パート2 :SAP Cloud Platform API Management Cloud Foundry環境からオンプレミスAPIに接続する | SAP Blogs、SAP Cloud Connectorの設定方法とSCP API Managementを使用したAPIの作成方法 | SAP Blogs

最新問題: 34

どの Clean Core Approach 原則が、カスタム コードを標準の SAP 機能から分離することを促進しますか？

- A. モジュール設計を推進します。
- B. 関心の分離を維持する。
- C. 一貫したコーディング標準を適用します。
- D. コードの再利用性を優先します。

Answer: B (メッセージを残す)

クリーン コア アプローチでは、SAP デジタル コアを変更から保護し、カスタム コードを分離することに重点が置かれています。

関心の分離 # カスタム ロジック/拡張機能は SAP 標準機能から分離されているため、アップグレードやイノベーションが中断されることはありません。

その他の原則 (モジュール設計、コーディング標準、再利用性) は優れたプラクティスですが、カスタム コードを分離するという Clean Core の目標とは特に結びついていません。したがって、正しい原則は「関心の分離を維持する」です。

最新問題: 35

インターネット タイプの API プロバイダーを作成しました。成功を示す HTTP 応答コードは何ですか？

- A. 403
- B. 502
- C. 401
- D. 200

Answer: ([解答を表示する](#))

API Management (Integration Suite) では、インターネット タイプの API プロバイダーを構成すると、システムはバックエンドにリクエストを送信して接続を確認します。

HTTP 200 # 成功 (OK)。エンドポイントにアクセスでき、機能しています。

401 (Unauthorized) # 認証失敗。

403 (禁止) # 認証失敗。

502 (Bad Gateway) # ネットワークまたはプロキシ エラー。

したがって、適切な接続を示す成功応答コードは 200 です。

最新問題: 36

SOAPアダプタを使用する統合プロセスを設定しました。デプロイメント後すぐに統合フローを実行できるイベントはどれですか？

- A. イベント終了
- B. メッセージ終了
- C. 開始イベント
- D. メッセージ開始

Answer: ([解答を表示する](#))

開始メッセージイベントを使用すると、デプロイメント後すぐに統合フローを実行できます。開始メッセージイベントは、SOAPアダプタなどのインバウンドチャネルを介して統合フローにメッセージが到着するとトリガーされます。開始メッセージイベントを使用すると、メッセージ入力に基づいて統合プロセスを開始できます。参考 :SAP Integration Suite による統合のモダナイズ | openSAP

最新問題: 37

ハイブリッド IT 環境で効率的かつ安全なイベント転送を実現する MQTT、AMQP、JMS プロトコルをサポートする、拡張性に優れた分散型イベント ストリーミング プラットフォームを提供する SAP 製品はどれですか。

- A. SAP ビジネス テクノロジー プラットフォーム (SAP BTP)
- B. SAP Cloud Platform、統合
- C. SAPプロセスオーケストレーション
- D. SAP 統合スイート、高度なイベント メッシュ

Answer: D ([メッセージを残す](#))

SAP Integration Suite Advanced Event Mesh (AEM) は、高度にスケーラブルな分散イベントストリーミングプラットフォームを提供するSAP製品です。多様なアプリケーションやシステム間でイベントドリブン通信が求められる、大規模、ハイブリッド、マルチクラウド環境向けに特別に設計されています。

SAP ドキュメントの要点:

* プロトコル サポート: Advanced Event Mesh

は、MQTT、AMQP、JMS、REST、WebSocket プロトコルをサポートし、異機種混在の IT 環境全体で安全かつ効率的なイベント転送を保証します。

* スケーラビリティと分散: よりシンプルなメッセージング シナリオ向けの標準の SAP Event Mesh とは異なり、AEM は複数の地理とクラウド リージョンにまたがる分散ブローカーを使用したグローバル規模のイベント ストリーミングを提供します。

* ハイブリッド統合: AEM は、オンプレミス システム、SAP クラウド アプリケーション、サードパーティ ソリューション間でのリアルタイムのイベント駆動型統合を可能にし、ハイブリッド IT 環境に適しています。

* エンタープライズ機能: 高可用性、災害復旧、動的スケーリング、エンタープライズ グレードのメッセージングのためのきめ細かなセキュリティなどの高度な機能が含まれています。

他のオプションが間違っている理由:

* A. SAP Business Technology Platform (SAP BTP) # これはSAPが提供する包括的な Platform as a Service (PaaS) です。基盤は提供しますが、イベントストリーミング機能は提供していません。

* B. SAP Cloud Platform、統合 # これは、現在のSAP Integration Suite (クラウド統合機能) の旧称です。高度な分散イベントストリーミング機能を直接提供するものではありません。

* C. SAP プロセス オーケストレーション # これはオンプレミスのミドルウェアスイート (PI/PO + BPM) ですが、分散イベント ストリーミングや MQTT などの最新のイベント プロトコル向けには設計されていません。

したがって、正解は D. SAP Integration Suite、Advanced Event Mesh です。これは、MQTT、AMQP、および JMS プロトコルをサポートする分散型のスケーラブルなイベントストリーミングを提供するために特別に構築された唯一の SAP ソリューションです。

最新問題: 38

API を記述するために使用できるマークアップ言語は次のどれですか? 注: この質問には 2 つの正解があります。

A. RAML

B. CXML

C. オープンAPI

D. HTML

Answer: A,C (メッセージを残す)

RAMLとOpenAPIは、APIを記述するためのマークアップ言語です。RAMLはRESTful API Modeling Language (RESTful APIモデリング言語)の略で、YAMLに基づいています。OpenAPIはRESTful APIを記述するための仕様で、JSONまたはYAMLに基づいています。どちらの言語でも、APIの構造、パラメータ、レスポンス、ドキュメントを定義できま

す。参考資料：統合ソフトウェア | SAP統合スイート、SAP統合スイートによる統合の近代化 | openSAP

最新問題: 39

イベント駆動型アーキテクチャのどのアーキテクチャパターンが、仲介者なしで2つのパーティ間の直接通信を可能にしますか？

- A. ポイントツーポイント
- B. イベントソーシング
- C. パブリッシュ・サブスクライブ
- D. メッセージキュー

Answer: A ([メッセージを残す](#))

参考文献

イベント駆動型アーキテクチャ (EDA) には、いくつかのメッセージングパターンが存在します。

ポイントツーポイント # 仲介者なしで2つの当事者 (送信者と受信者) 間の直接通信を可能にします。

パブリッシュサブスクライブ # 複数のコンシューマーがイベントをサブスクライブします。ブローカー/仲介者 (Event Mesh など) が必要です。

メッセージキュー # プロデューサーとコンシューマーの間の仲介としてキューに依存します。

イベントソーシング # 通信パターンではなく、状態の変化をイベントとして保存することを指します。

したがって、仲介者なしで直接通信を可能にする唯一のパターンは、Point-to-Point です。

最新問題: 40

APIプロキシを作成しています。有効なパスプレフィックスは次のどれですか？

- A. /sap/opo/odata
- B. /sap/odu/odate
- C. /sap/opu/once
- D. /soap/opu/once

Answer: C ([メッセージを残す](#))

SAP システム (S/4HANA、SAP Gateway など) では、OData サービスは標準の URL パスに従います。

/sap/opu/odata # OData サービスの有効な公式プレフィックス。

例: /sap/opu/odata/sap/API_BUSINESS_PARTNER

その他のオプション:

/sap/opo/odata および /sap/odu/odata # 誤字脱字があり、無効です。

/soap/opu/odata # OData は SOAP ベースではないため、誤りです。

したがって、有効なプレフィックスは /sap/opu/odata です。

最新問題: 41

コンテンツ修飾子を次のように設定しました :アクション: 作成 | 名前: ProductID | ソースタイプ: XPath ソース値: //ProductID | データ型: java.lang.string。コンテンツ修飾子をテストした後、次のフラグメントを含むエラーメッセージが表示されます:

"Java.lang.ClassNotFoundException: java.lang.string..." エラーメッセージの原因は何ですか？

- A. ソースタイプが正しくありません
- B. ソース値が正しくありません
- C. 名前が正しくありません
- D. データ型が正しくありません

Answer: D (メッセージを残す)

SAP Cloud Integration では、Content Modifier プロパティを定義するときに、Java データ型名では大文字と小文字が区別されます。

正しい型 # java.lang.String

構成では、java.lang.string (小文字の "s") が使用されましたが、Java はクラスを見つけることができないため、ClassNotFoundException が発生します。

他のオプションの形式は正しいです:

ソース タイプ = XPath # 有効。

ソース値 = //ProductID # 有効な XPath。

名前 = ProductID # 有効。

したがって、データ型の指定が不正確であるためにエラーが発生しました。

最新問題: 42

ハイブリッドおよびマルチクラウド環境全体の統合を管理する SAP オファリングはどれですか？

- A. SAP Cloud Platform Integration は、ハイブリッドおよびマルチクラウド環境全体の統合を管理します。
- B. SAP プロセス オーケストレーションは、ハイブリッド環境とマルチクラウド環境全体の統合を管理します。
- C. SAP 統合スイートは、ハイブリッドおよびマルチクラウド環境全体の統合を管理します。
- D. SAP Business Technology Platform は、ハイブリッド環境とマルチクラウド環境全体の統合を管理します。

Answer: C (メッセージを残す)

SAP Integration Suiteは、SAPが提供する戦略的な統合プラットフォーム (iPaaS) です。ハイブリッドおよびマルチクラウド環境向けの包括的な統合機能セットを提供します。

オンプレミスの SAP システム、クラウド SAP ソリューション (S/4HANA

Cloud、SuccessFactors、Ariba など)、サードパーティ アプリケーションを接続します。

さまざまな統合パターンをサポートするために、クラウド統合、API 管理、イベント メッセージ、オープン コネクタ、統合アドバイザーなどの機能を提供します。

SAP は、Integration Suite を、異機種混合の分散 IT 環境全体にわたるエンドツーエンドの統合を管理するソリューションとして明確に位置付けています。

その他のオプション:

SAP Cloud Platform Integration は、Cloud Integration (現在は Integration Suite の一部) の以前の名前です。

SAP Process Orchestration は従来のオンプレミス ミドルウェアであり、マルチクラウド/ハイブリッド環境向けに設計されていません。

SAP BTP は全体的なプラットフォームであり、統合はその中の 1 つの機能にすぎません。

最新問題: 43

統合フロー コンポーネントとしてリモート HTTP API への同期呼び出しを実装したいと考えています。どのアダプタを使用できますか?

A. AMQP

B. SFTP

C. 1回

D. メール

Answer: C (メッセージを残す)

統合フロー内のリモート HTTP API への同期呼び出しの場合:

OData アダプター (または HTTP アダプター) は、REST ベースのサービスとの同期要求応答通信を実行するために使用されます。

AMQP # 同期ではないメッセージング プロトコル。

SFTP # ファイルベースの転送、非同期。

メール # SMTP/IMAP の場合、同期 API 呼び出しではありません。

したがって、同期リモート API 呼び出しに適したアダプターは OData (または構成に応じて HTTP アダプター) です。

Valid C_CPI_2506 Dumps shared by GoShiken.com for Helping Passing C_CPI_2506 Exam! GoShiken.com now offer the **newest C_CPI_2506 exam dumps**, the GoShiken.com C_CPI_2506 exam **questions have been updated and answers have been corrected** get the **newest** GoShiken.com C_CPI_2506 dumps with Test Engine here: https://www.goshiken.com/SAP/C_CPI_2506-mondaishu.html (62 Q&As Dumps, **30%OFF Special Discount: Freepdfdumps**)